

コロナ禍での乳幼児親子支援

(担当 こども家庭部 子育て支援課 糺谷児童館)

事業の背景・目的

「おうちで工作・児童館」

昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため乳幼児親子の施設利用を制限する中、「施設を利用しなくても児童館での活動を感じてもらい、家の中で少しでも笑顔で過ごしてほしい」とう目的に向け「おうちで工作」を考案した。今年度は「おうちで児童館」としてリニューアルし、こどもの日セットや七夕セットなど、家庭でも季節行事を楽しめるよう、内容の幅を広げている。

「子育て川柳」

家で過ごす時間が増えた乳幼児の保護者を対象に、子育てについての様子や「あるある」などを川柳で表現、掲示することで保護者同士や職員と子育てについての思いを共有し、交流を図った。

事業の概要

「おうちで工作・児童館」

- ・実施場所…児童館玄関前にワゴンを設置
- ・実施頻度…月曜日～土曜日 午前9時～午後5時まで
- ・職員体制…毎月、担当の職員が内容を考案
- ・実施方法…「おうちで児童館」のセットを作成、
玄関前に「ご自由にお持ちください」と掲示。通りかかった方が自由に持ち帰られるよう配置した。
セット内容は、工作キット・手遊びや子育て情報のパンフレットなど。



「子育て川柳」

- ・実施場所…施設内掲示板
- ・実施頻度…令和3年3月
午前9時～正午まで
- ・職員体制…子育てひろば担当職員(当番制)が行う
- ・実施方法…乳幼児保護者に子育て川柳についてのご案内と用紙を配布。
寄せられた川柳を掲示し、施設利用者に広く周知した。



工夫点・留意点

「おうちで工作・児童館」



←玄関前のワゴンにセットを入れて、誰でも持ち帰られるようにしました。

遠くから見てもわかるように看板を作りました。→



事業の効果

「おうちで工作・児童館」

乳幼児親子や公園利用者などが児童館前を通る際、表示に気付いて持ち帰る姿がよくみられた。(令和3年8月現在、31種類、延べ1500セット配布)

回を重ねるごとに「今回はどんな工作ですか?」「子どもと一緒に遊びました」など、持ち帰った方から家庭内で楽しんでいる様子や感想・質問が寄せられるようになった。また、これをきっかけに施設を利用するようになった乳幼児親子もおり、地域に児童館をお知らせするよい機会となった。

「子育て川柳」

寄せられた川柳には、子どもたちの微笑ましい振る舞いや、元気があふれている様子など、日常の姿や保護者の子どもへのあたたかい眼差しが投影されていた。

掲示板の前では、川柳を見ながら「そうそう!」と共感したり、笑いあったりしながら、日頃の子育てを振り返る保護者の姿がみられた。

課題・今後の展開

「おうちで工作・児童館」

昨年度は「工作キット」の配布であったが、今年度は「おうちで児童館」として「離乳食のレシピ」や最新の「区内の子育て支援事業のご案内」なども盛り込んだ。保護者が子育て情報を得て、児童館や地域との繋がりが持てるようこれからも工夫していきたい。

「子育て川柳」

子育て川柳を見た小学生たちからのリクエストで「子ども川柳」も行われた。次回は一斉に開催し、川柳を通して乳幼児親子と小学生が交流を持てるような行事にしていきたい。また、子育て川柳で寄せられたコメントから児童館へのニーズを読み取り、今後の乳幼児親子活動の事業展開に活かしていきたい。